

コード	40207
作成年度	25年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	林業の環境整備
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115	関係課名
主管課名	農林課	

## 基本事業の目的

森林組合の強化や林業構造改善を図りながら林業後継者の育成に努めるとともに計画的な森林保育、林道整備を行うことにより林業の環境整備をすることを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	林道密度	成果指標名称 2	林業後継者数
成果指標の積算根拠	林道延長(m)÷私有林面積(ha)	成果指標の積算根拠	林業従事者÷目標林業従事者
目標達成年度	平成25年度	目標達成年度	平成25年度
目標達成数値	8.4m/ha	目標達成数値	14人

年		度		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
成果指標 1	目標 A	単位	m/ha	8.5	8.5	8.5	8.3	8.4
	実績 B		m/ha	8.2	8.3	8.3	8.4	
	達成率 B/A		%	96.9	97.5	97.9	101.2	
成果指標 2	目標 A	単位	人	14	14	14	14	14
	実績 B		人	14	14	13	13	
	達成率 B/A		%	100.0	100.0	92.9	92.9	

1次評価	現状	林道の開設については、保育作業や主伐のため利用率がある箇所を中心に開設の計画をしている。また、林業従事者の確保については、国県の補助事業を活用し、少人数ではあるが増加している。しかし数年以内に新たに退職者が数名発生する予定である。
	課題	林道の開設にあたり不在者が多く、地元住民や地権者の同意をもとめる必要がある。また、林業従事者を確保するためには、林業技術を取得するのに数年を要するうえ、危険であることを加味しても、緊急な雇用を推進しなければならない。
	改善	緊急雇用対策等を活用し、林業技術の取得補助、社会保険等の助成、林業機械の導入による労務の軽減を図る。新規雇用を行い、技術の継承で次期担い手の育成を図る。

2次評価	林道の開設、既存施設の維持管理においては、計画的な整備方針により行っていくこと。また、若者の担い手・後継者の育成は、林業が生業として成立することが前提であることから難しいが、各種補助事業等による支援策など検討していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

## ◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成24年度 直接事業費	評価の方向性
1	402070301	森林整備地域活動支援交付金事業	農林課	1,132千円	(途中) このまま事業を継続
2	402070401	ながさき森林づくり担い手対策補助事業	農林課	3,235千円	(途中) このまま事業を継続
3	402070402	森林組合指導補助事業	農林課	90千円	(途中) このまま事業を継続
4	402070403	高性能林業機械導入補助事業	農林課	-	(途中) このまま事業を継続
5	402070902	林道中山大浦線改良事業	農林課	3,001千円	(途中) このまま事業を継続
6	402071001	林道鬼ヶ原線改良事業	農林課	20,433千円	(途中) このまま事業を継続
7	402071101	町行造林保育事業	農林課	10,910千円	(途中) このまま事業を継続
8	402071102	森林再生モデル事業	農林課	3,570千円	(途中) このまま事業を継続
9	402070903	林道赤尾線（鍋山橋）改良事業	農林課	18,579千円	(事後) 平成24年度で事業完了
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				60,950千円	